

令和5年度生野区運営方針 中間振り返り (こどもの未来部会：抜粋分)

令和5年度 生野区区政会議
第2回こどもの未来部会



令和5年12月19日（火）



目 次

【子育てにやさしく、教育につよいまち】	3
・（３－１）安心してこどもを生み育てることができる環境づくり	5
・（３－１－１）ライフステージに応じた子育て支援の充実	6
・（３－１－２）安心して楽しく子育てできる環境づくり	7
・（３－２）未来を生き抜く力の育成	8
・（３－２－１）次世代の学校づくり	9
・（３－２－２）まちの教育力を上げる	11

めざすべき将来像（最終的なめざす状態：概ね10～20年を念頭に設定）

生まれてから義務教育終了に至るまで「ひとりも取りこぼさない」仕組みにより、子育てしたい、教育を受けさせたいと思えるまち



現状・データ

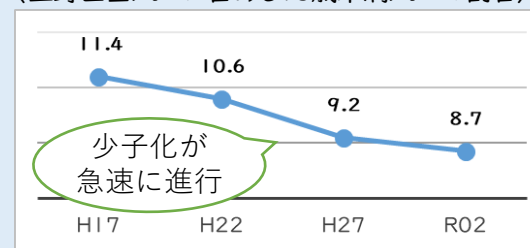
◆こども・子育て環境

<区内人口の推移（国勢調査）>

単位：人

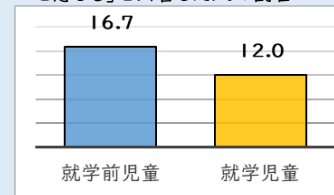
	H17	H22	H27	R02
15歳未満	15,744	14,205	11,982	11,098
15歳以上	122,820	119,804	118,185	116,211
全人口	138,564	134,009	130,167	127,309

<生野区全人口に占める15歳未満人口の割合>

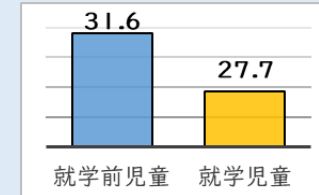


<こども・子育て支援に関するニーズ等調査（平成30年度）>

子育てを「つらいと感じる」「少しつらいと感じる」と回答した人の割合



子育てが地域の人や社会に支えられていると「感じない」と回答した人の割合

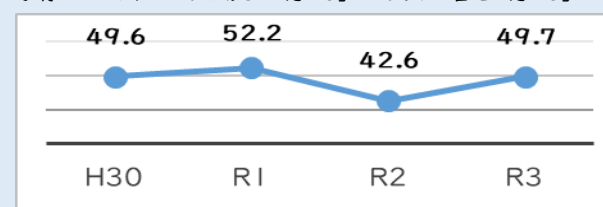


<子どもの生活に関する実態調査（平成28年度）>

- ・こどもに絵本を読み聞かせていると回答した人（5歳児保護者）
生野区 55.5%（大阪市平均 63.2%）

<区政に関する区民アンケート>

子育てのしやすいまちであると「感じる」「どちらかと言えば感じる」と回答した人の割合



現状からみた要因と課題

要因

- ・少子化、核家族化が進んでいる中、ニーズ等調査に表れているように、「子育てがつらいと感じる」「子育てが地域の人や社会に支えられていると感じない。」ととらえている人の割合も高く、育児に対して不安やストレスを感じた際に相談できる相手がおらず、孤立化してしまう恐れがある。
- ・様々な理由から親が子に絵本を読み聞かせる機会が少なく、読み聞かせから生まれる親子のコミュニケーションの構築や、想像力・感受性が育まれる機会も少ない傾向にあると考えられる。

課題

- ・少子化が急激に進行している現状を改善し、次世代を担う若い世代を呼び込むためには、区民だけでなく、区外の方々にも安心して子育てのできる環境をアピールすることが必要である。
- ・子育て情報が容易に収集できる環境を整備するとともに、孤立化しがちな子育て世帯が気軽に相談や交流ができるような機会を提供していくなど、細やかな支援が必要である。
- ・積極的に絵本とふれあう機会を提供していきながら、絵本を通してこどもの想像力や感受性を育み、親子のコミュニケーションを高めていくきっかけが必要である。

めざすべき将来像（最終的なめざす状態：概ね10～20年間で念頭に設定）

生まれてから義務教育終了に至るまで「ひとりも取りこぼさない」仕組みにより、子育てしたい、教育を受けさせたいと思えるまち



現状・データ

◆学校教育環境

○令和4年度 全国学力・学習状況調査より

		小6	中3
授業時間以外に全く勉強しない子の割合	大阪市	11.1%	9.1%
	全国	4.2%	4.9%
将来の夢や目標を持っていない子の割合	大阪市	21.8%	35.9%
	全国	20.2%	32.5%
難しいことには挑戦しない子の割合	大阪市	31.5%	35.3%
	全国	27.5%	32.9%

○生野区内の大阪市立小学校 単学級の学年数

	S57年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
学校数	19校	19校	19校	19校	19校	19校	19校	18校	14校
児童数 (人)	14,656	4,606	4,512	4,495	4,503	4,483	4,391	4,330	4,284
総学年数 (学校数×6学年)	114	114	114	114	114	114	114	108	84
単学級の 学年数	0	61	60	62	65	67	68	61	26

(大阪市学校現況調査から)

○学校配置の適正化の取り組み状況

- ・平成28年2月に「生野区西部地域学校再編整備計画」を策定後、令和2年4月に改正施行された「大阪市立学校活性化条例」に基づき学校配置の適正化の取り組みを進めている。
- ・平成31年4月：「桃谷中学校」開校
- ・令和 3年4月：「大池小学校」開校
- ・令和 4年4月：「小中一貫校大池学園」「義務教育学校生野未来学園」「田島南小中一貫校」開校

現状からみた要因と課題

要因

- ・次世代を担うこともたちが社会環境の多様な変化にも柔軟に対応することができるよう教育環境の充実が求められているが、学校外での学習状況や将来への希望、困難に立ち向かう児童生徒の割合が全国平均と比べ低くなっている。
- ・区内の児童数は、昭和50年代と比べて約70%減少し、学校の小規模化が進んでいた。

課題

- ・さまざまな家庭環境で育つこともたちがいる中、未来を生き抜く力を育成するためには、学校内外での多様な学びの機会の充実を図るとともに、特色ある学校の取り組みへの支援が必要と考えられる。
- ・児童の良好な教育環境の確保及び教育環境の充実を図るため、学校配置の適正化が必要である。

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

次世代を担う子どもたちが健やかに育つための環境や相談支援体制があり、安心して子育てができるまちとなっている状態

戦略（中長期的な取組の方向性）

① ライフステージに応じた子育て支援の充実

- ・妊娠期から、保健師との顔の見える関係づくりによる継続した支援を行う。（大阪市版ネウボラ）
- ・各健康診査や子育て相談時に、発達障がい児またはその疑いのある子を早期に発見し、療育支援に取り組む。

② 安心して楽しく子育てができるまちづくり

- ・身近な地域での子育て支援活動をはじめ、子育てを支援する団体等と連携・協働しながら、まちぐるみで子育てを応援する機運を高め、安心して楽しく子育てのできる環境づくりに取り組む。

アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標）

区民へのアンケートで子育てしやすいまちと感じると回答した割合：令和8年度（2026年度）末までに60%以上

中間振り返り（令和5年8月末時点）

アウトカム指標の達成状況

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	※			

具体的取組へ

※年度末までに測定

具体的取組 3-1-1

ライフステージに応じた子育て支援の充実

計画(取組内容)

R3決算額(3,535千円) R4予算額(6,270千円) R5予算額(6,316千円)

取組によりめざす指標

◇妊娠から出産、乳幼児期から就学期にわたる各ライフステージをトータルで支援

- ・妊娠期から、保健師との顔の見える関係づくりによる継続した支援を行う。(大阪市版ネウボラ)
- ・子育て支援機関等と連携し、適切な機関につなげる。
「生野区子育て支援会議」を開催し、情報共有・事例検討等連携を進める(年6回開催)

- ・生野区こども地域包括ケアシステムの運営により、地域団体等の連携を進め、子育て世帯への支援体制強化に取り組む。

◇区民が安心して、子どもを生み育てることができる環境づくり

- ・発達障がい児等支援
各健康診査や子育て相談時に、発達障がい児またはその疑いのある子を早期に発見し、療育支援に取り組む。

健診フォロー教室に参加した養育者について、こどもの養育に参考になったなど肯定的に感じた養育者の割合90%以上

中間振り返り(令和5年8月末時点)

自己評価	今年度の取組実績	めざす指標の達成状況 (「達成」「未達成」「未測定」)	今後の課題と改善策 ※指標の達成状況が「未達成」の場合は必須
	・保健師の似顔絵と担当地域を示したチラシをR5.6月広報紙に掲載及び、母子手帳交付時に配布 ・生野区子育て支援会議:2回 ・1歳6か月児健診フォロー教室「すくすく」:6組(前期)	達成(見込)	—

具体的取組 3-1-2

安心して楽しく子育てできる環境づくり

計画(取組内容)

R3決算額(602千円) R4予算額(1,313千円) R5予算額(1,078千円)

取組によりめざす指標

◇子育てを支援することに加え、子育てがより楽しくなるような仕掛けづくり

- ・「生きるチカラを育む絵本プロジェクト」
絵本サポーターの発掘・育成
生野区絵本ダイアリー「いくみんのほんだな」の発行
- ・「子育て応援イベント いくのっ子広場」(1回以上開催)
- ・子育て講演会の開催(1回以上開催)

◇まちぐるみ子育て宣言

- ・子育て宣言に沿った「まちぐるみの子育て」の取組の拡大

◇生野のまちで子育てしたくなるよう積極的な情報発信

- ・「生野区子育て情報サイト"いくの de 育~の"」などを活用して、
地域の子育て支援情報などを効果的に発信するとともに、更なる充実を図る。



- ①「子育て応援イベント いくのっ子広場」
・子育て応援イベント参加者の満足度80%以上

- ②「生野区子育て情報サイトで
の積極的な情報発信」
・生野区子育て情報サイトのアクセス数を前年度実績
(7,879件)以上

中間振り返り(令和5年8月末時点)

自己評価	今年度の取組実績	めざす指標の達成状況 (「達成」「未達成」「未測定」)	今後の課題と改善策 ※指標の達成状況が「未達成」の場合は必須
	・いくのっ子広場(R5年9月9日・R6年1月16日開催予定)の準備 ・生野区子育て情報サイトのアクセス数8月末現在・3,729件(R4年8月末3,537件)	達成(見込)	—

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

生野のまちで学び育つこどもたちが、確かな基礎学力のもと、広い視野をもって、社会や人生が変化しても、課題を発見し解決していく力を身につけている状態

戦略（中長期的な取組の方向性）

① 次世代の学校づくり

- ・生野区の教育環境を充実するために、区における産官学と地域の連携を図り、学校ごとに異なる課題や特色に対応した多様性に富んだ質の良い教育支援ができる仕組みを構築し運用する。
- ・学校や保護者、地域の方々など社会全体で協働的にこどもの成長に関わっていく中で、未来を生き抜く力の育成の視点に立ち、これまでも取り組んできた性・生教育やキャリア教育の講師派遣の充実を図るとともに、コロナ禍でも継続できる職業体験などを通して、主体的・対話的で深い学びを目的としたプログラム提供の取組を行う。また、教員が学びあうための環境整備・学校支援・研修など教員の指導力向上の取組への支援を行う。
- ・学校配置の適正化については「大阪市立学校活性化条例」に基づいて引き続き進めていく。

② まちの教育力を上げる

- ・地域の生涯学習活動や生涯学習推進員を支援し、生涯学習に取り組む区民が学習の成果を地域に還元できるよう支援を進める。
- ・こどもが地域の大人に学ぶことで、多世代交流を図ることができるよう進めていく。

アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標）	中間振り返り（令和5年8月末時点） アウトカム指標の達成状況				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
児童・生徒へのアンケートで難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦したいと思うと回答した割合：令和8年度（2026年度）末までに70%以上		※			
区民へのアンケートで学校だけでなく、地域でさまざまな学習、体験や交流ができる機会があると回答した割合：令和8年度（2026年度）末までに50%以上	40.2%	※			

具体的取組へ

※年度末までに測定

具体的取組 3-2-1

次世代の学校づくり

計画(取組内容)

R3決算額(35,148千円) R4予算額(97,346千円) R5予算額(85,360千円)

①学び支援事業

- ・児童の学力状況の把握および自主学習習慣の確立や健康・体力の保持増進を目的に、模擬検定等の受検を学校が活用できる機会を提供する。(区内小学校・義務教育学校 14校)

②民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」(再掲)

- ・生徒の自尊感情を醸成し、将来の夢や目標を持ち、その実現に必要な「自ら学ぶ力」と自主学習習慣の定着、基礎学力向上のための取組として、民間事業者等による課外授業を行う。また事業者と学校の連携を図り、支援が必要な生徒を適切な支援につなぐ。(7教室)

③生きるチカラまなびサポート事業(再掲)

- ・「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」を学校の要請に応じて派遣する。(区内全市立小学校・中学校・義務教育学校)

④学校適正配置の見直し

- ・「北鶴橋小学校・鶴橋小学校 学校再編整備計画」に基づき、令和8年4月の再編実施に向け、保護者、地域住民等が参画する「学校適正配置検討会議」において、学校再編に向けて必要な事項の意見聴取を行う。
- ・東桃谷小学校並びに勝山小学校を適正規模にするための計画案の作成をめざす。
- ・学校再編に伴う環境整備
児童の安全確保のため、児童の安全確保と居場所づくり事業や、通学路の安全対策等を行う。

取組によりめざす指標

- ①事業実施後アンケートで学習意欲を問う設問について、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上

- ②事業参加前後アンケートで
・「勉強へのやる気がある」という設問に対し、肯定的な回答する生徒の割合を増
・「1日にどれくらいの時間、学校以外で学習をしていますか」という設問に対し、「30分より少ない」、「全くしない」と回答する生徒の割合を半減

- ③事業実施後アンケートで「将来の夢や目標はありますか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」といった肯定的な回答をした児童・生徒の割合80%以上

- ④学校再編整備計画に基づき、学校適正配置検討会議を経て、通学路の安全対策等を決定する

具体的取組 3-2-1

次世代の学校づくり

中間振り返り(令和5年8月末時点)

自己評価	今年度の取組実績	めざす指標の達成状況 (「達成」「未達成」「未測定」)	今後の課題と改善策 ※指標の達成状況が「未達成」の場合は必須
	①未実施(10月以降順次実施予定) ②4月から7教室で実施。8月までの受講者81名 ③15小中学校・義務教育学校/32回実施(8月末) ④・北鶴橋小学校・鶴橋小学校学校適正配置 検討会議、通学路安全対策専門部会を開催 ・東桃谷小学校・勝山小学校 学校再編整備計画 策定(8月) ・4月から「児童の安全確保と居場所づくり事業」 実施	①達成(見込) ②達成(見込) ③達成(見込) ④達成(見込)	—

具体的取組 3-2-2

まちの教育力を上げる

計画(取組内容)

R3決算額(658千円) R4予算額(1,079千円) R5予算額(919千円)

取組によりめざす指標

◇地域住民間の交流を促進することにより、コミュニティづくりに寄与し、生涯学習の推進を目的として、自主的な講習・講座等の学習機会の提供及び拡充や、文化・学習活動、発表、交流の場の提供を図る。

- ・区生涯学習ルームフェスティバルの開催
- ・生涯学習ルームの開設
- ・生涯学習推進員連絡会との連絡調整会議の開催
- ・生涯学習ルームでの作品発表の場として、区役所等(区民ギャラリー等)での作品展示の実施



生涯学習ルームフェスティバル

生涯学習ルーム参加者アンケートの「区の生涯学習事業で学んだ内容を、地域行事等に活かすことができましたか」の問いに対し「できた」と答えた割合:60%以上

中間振り返り(令和5年8月末時点)

自己評価	今年度の取組実績	めざす指標の達成状況 (「達成」「未達成」「未測定」)	今後の課題と改善策 ※指標の達成状況が「未達成」の場合は必須
	・開設中の生涯学習ルームは70講座 ・生涯学習推進員連絡会との連絡調整会議を3回開催(全10回を予定) ・生涯学習ルームの作品発表の場として、区役所(区民ギャラリー)にて計2回展示	達成(見込)	—